

調査の概要

1 調査対象校（国立を除く全公立学校）

小学校 549校（分校も1校とカウント。）

中学校等 244校（分校も1校とカウント。県立中学校1校、中等教育学校前期課程7校を含む）

高等学校等 99校（定時制・分校も1校とカウント。中等教育学校後期課程4校を含む）

2 調査期間

平成21年5月から7月まで

3 調査内容

小学校3年生以上は8項目を指定し、中学生以上は選択種目を含む9項目で調査。

項目 要素 区分	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
	筋力	筋力 筋持久力	柔軟性	敏捷性	全身 持久力	全身 持久力	ｽｰﾄ	瞬発力	巧緻性 瞬発力
小学校3年生以上					-				
中学・中等教育・高校					選択 ⇄ 選択				

4 比較・分析対象

(1) 小学校では、3年生以上で実施した8項目を対象とした。

(2) 中・高等学校では、持久走とシャトルランのうち、実施人数の多い方を指標とすることとし、中学校等では平成15年度からシャトルランを、高等学校等では平成18年度までは持久走を、平成19年度からはシャトルランを対象とした。

5 前年度県平均値との比較（別紙2）

(1) 小学校

- 男子は、上体起こし、長座体前屈、シャトルラン、50m走が、すべての学年で前年度と同程度以上だったが、握力、反復横とび、立ち幅とび、ボール投げでは、前年度を下回った学年があった。
- 女子は、長座体前屈、シャトルランがすべての学年で前年度と同程度以上だったが、握力、上体起こし、反復横とび、50m走、立ち幅とび、ボール投げでは前年度を下回った学年があった。

(2) 中学校等

- 男子は、1、2年生でほとんどの項目が前年度と同程度以上だったが、3年生ではほとんどの項目が前年度を下回った。
- 女子は、長座体前屈、反復横とび、ボール投げがすべての学年で前年度と同程度以上だったが、握力は、すべての学年で前年度を下回った。

(3) 高等学校等

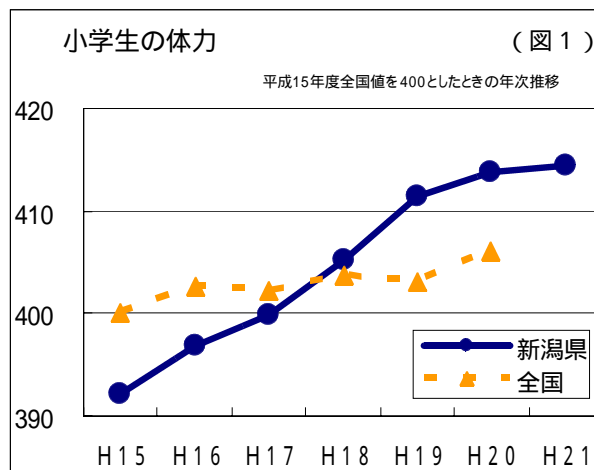
- 男子は、上体起こし、反復横とび、シャトルラン、立ち幅とび、ボール投げがすべての学年で前年度と同程度以上だったが、握力、長座体前屈、50m走は前年度を下回る学年があった。
- 女子は、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、シャトルラン、50m走、立ち幅とびがすべての学年で前年度と同程度以上だったが、握力とボール投げは、前年度を下回る学年があった。

6 平成15～21年度7年間のTスコアの変遷（図1～3）

図1～3は、平成15年度の8項目の全国平均値をそれぞれ50に換算し、合計400としたとき、平成15年度から平成21年度の県平均値と平成15年度から平成20年度までの全国平均値を、標準偏差を用いた共通のものさし（Tスコア）を使うことで、各校種ごとの経年変化を比較したものである。

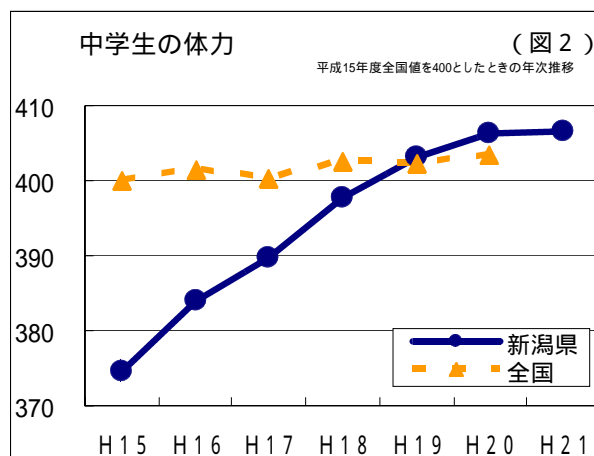
(1) 小学校

- ・ 全国合計値は、向上の兆しを見せ始めた。
- ・ 県合計値は年度ごとに上昇し、平成18年度に全国合計値を超え、堅実に伸びてきた。
- ・ 平成21年度県合計値は、前年度をわずかに上回った。



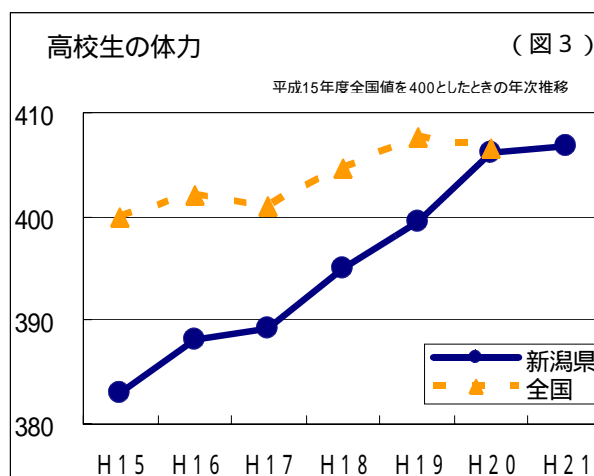
(2) 中学校等

- ・ 全国合計値は、横ばいである。
- ・ 県合計値は、平成15年度では全国合計値との差が大きかったが順調な伸びを示し、平成19年度には全国合計値を上回った。
- ・ 平成21年度県合計値は、前年度をわずかに上回った。



(3) 高等学校等

- ・ 全国合計値は、平成18年度から上昇傾向が見られたが、平成20年度は低下した。
- ・ 県合計値は平成16年度以降順調に伸び、平成20年度には全国合計値とほぼ同程度となった。
- ・ 平成21年度県合計値は、前年度をわずかに上回った。



7 各調査項目の経年比較 (別紙3)

小学校5年生・中学校2年生・高校2年生の各調査項目の平成15年度から平成21年度までを比較し、特徴的な調査項目についてまとめた。

握力・・・中学校男子と高等学校男女の低下傾向が続いている。

50m走・・・年々記録が向上し、全国値に近づきつつある。全国値と同程度の学年もある。

ボール投げ・・・小学校男子以外は大きな記録の伸びが見られず、全国値を下回っている。

8 まとめ

本県の児童生徒の体力・運動能力は、県による全校種での体力テスト実施や「体力向上のためのガイドライン」策定、各学校での「1学校1取組」運動などの成果により、これまで大きく伸びてきた。しかし、次第に伸び率が緩やかになりグラフは横ばいとなる傾向を示している。

今後は、更なる向上と体力テスト全種目における全国平均値以上を目標とし、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動に親しむ児童生徒の育成を目指した取組を継続していく。